

# 内服抗がん薬プロトコールの内容について

プロトコールの適応癌種

登録番号	プロトコール名		
C16-39	胃癌 CapeOX 療法		
適応病名	胃癌	1クールの日数	21日
実施部署	■外来、■病棟、□その他( )	放射線療法	■なし、□あり
適応分類	□初発、■進行・再発、□術後補助、□術前補助、□その他( )		
番号	抗がん薬一般名	1日投与量	投与方法 投与日(1日目等)
1	カペシタビン	2000 mg/m <sup>2</sup> *	po 1-14日目
2	オキサリプラチン	130 mg/m <sup>2</sup>	div 1日目
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
ガイドライン 文献名	kim,GM et.al. A randomized phase II trial of S-1-oxaliplatin versus capecitabine-oxaliplatin in advanced gastric cancer. European Journal of Cancer(2012)48,5:48-526		
その他(減量・増量規定、プロトコールに関する補足説明など)	*カペシタビンは1日2回、d1-14(po)。BSA1.36>(1.2g/回)、1.36≤(1.5g/回)、1.66≤(1.8g/回)、1.96≤(2.1g/回)		
注釈	◎投与法の項で使用されている略語 iv : 静脈注射、div : 点滴注射、civ : 持続静脈注射、po : 内服、it : 髄腔内投与、sc : 皮下注射、im : 筋肉注射 ◎適応分類 【初発】…初発の血液腫瘍に使用する場合。 【進行・再発】…進行・再発した腫瘍に対して使用する場合。 【術後補助】…術後補助化学療法として使用する場合。 【術前補助】…術前補助化学療法として使用する場合		

略語は注釈を参照

カペオックス療法と読みます。  
 カペシタビン (Capesitabine)  
 +  
 オキサリプラチン (OXaliplatin)

この表から、投与スケジュールが、1クール21日間(3週間)として、下表の通り抗がん薬が投与されることが分かります。尚、クール数および投与量、投与日数、休薬期間等は、治療効果や患者の状態によって変更となる場合があります。

**C16-39 胃癌CapeOX療法**

カペシタビン(ゼローダ): BSA 1.36 > (1200mg/回)、1.36 ≤ (1500mg/回)、1.66 ≤ (1800mg/回)、1.96 ≤ (2100mg/回)。1日2回、d1-14投与

薬剤名 (一般名/商品名)	投与量	投与期間/ 投与方法	1クール(21日間)																				
			1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
カペシタビン/ゼローダ	2,000 mg/m <sup>2</sup>	経口	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
オキサリプラチン/エルプラット	130 mg/m <sup>2</sup>	点滴注射	○																				

● : 内服抗がん薬投与日  
 ○ : 内服抗がん薬以外の投与日  
 # : 休薬

【注意事項】  
 投与スケジュールは、患者さんの体調などにより変わることがあります。

抗がん薬の減量基準、投与量の基準など重要な説明が記載されています。  
 例) カペシタビンの場合、体表面積(=BSA)によって、1回あたりの投与量が異なります。